

3月定例町議会開会

新年度予算などを審議

昭和三十
六年度予算
案をはじめ
各議案（二
十四件）を
審議するを
日定例町議
会は、十七
日役場会議
室で開会さ
れ会期を二
十九日まで
の十三日間
と定め、連
日慎重な審
議を重ねて
いる。

三月定例町議会の開会にあたり、昭和三十六年度の町政の方針と所感の一端を申し上げたい。



教育と經濟計画に重点

新年度の施政方針

基礎的財源である固定資産税と町民税は、殆んど昨年度となるわけで、町民生活は必ずしも著しく向上しておらないことを知るこ

合川中学校の建築

は、増減税をしないですえ おく方針でありますが、免 税点の変更による軽微な増 減は個人的にでることのほ か、所得によつて増減する 町民税以外に個々の税は、 大きく変らないものであり ます。	国民健康保険事業は、昭 和三十五年度で完全に赤字 を解消することができまし たが、給付拡大（新たに、 給食、歯科、寝具）による 国保制度の充実を行なうの で、現行の一世帯平均三千 三百円の保険税を三千八百 円と五百円の引上げを行な うことになりました。
しかし、この税も北秋田 郡で一番低い上小阿仁村の 次に位する基準であること に理解をいただきたいと思 います。	これは、納税組合を通じ て税制を研究し、税の理解 をえることに組合員各位が 努力されたたもので感謝 にたえない次第であります。

整備充実も併せて行なわれなければならない。教育への強い意識を中核として考えるならば、町民各位も住民感情のみによつて混沌と生徒の学校生活のうえに幸をもたらすか不幸をもたらすか容易に理解できることであることを確信するものであります。

また他の行政水準を急速に引上げる必要により、財政的に赤字を招来するおそれがあるとすれば、当初の財政計画年次を延長することややぶさかではないのであります。

畜産の振興に力をそぐ所存で、酪農、養豚が大巾に伸びる年度と確信するものであります。

さらに勞働生産性の改善を企図するために、東地区北地区の水田区画整理の基礎調査を完了し、農民や農業団体の理解と啓蒙を推進し、とくに町内全般にわたる、農休日の徹底活用、農事視察、各種講習会の開催等により、新しい農村構造の確立の運動を図るとともに、鎌沢の開田に引続いて積害補助事業として、三木田、雪田等さらに二十町歩ほどの開田も推進する所存であります。

築する方針であります。

《道路、橋梁河川》

三里橋は新年度着工、鎌沢橋は明年度着工を陳情中であったが、三里橋の着工が初年度約千八百万円で決定したことを喜びたいと思います。

新年度下部工全部と摩当側の取付道路および摩当部落内の側溝改良を行なう予定であります。

また合川駅前から下杉部落まで路盤改良工事が行なわれ、下杉部落内の側溝改良も行なわれる予定であります。

上杉部落の谷本小学校

町民の財政経済

町の財政は、国が地方財政の改善方向に努力しつつあり、国の財政援助である地方交付税の大巾な増加を示しつつあることにより、職員の給与改善、町政全般の行政水準の向上に漸次ながら好影響をもたらしつつあります。

最初に申しのべたごとく、地方交付税の増加を機会に財政の分散を集約的投資によつて、教育方針の確立による教育の充実、特に合川中学校の建築、各小中学校の整備充実等、一連の教育施設の改善を企図するとともに、町民経済のはあくにも

昭和三十六年度の一般税

西中学校を統合して合川中
学校として発足することに
万場一致の議決をえ、県教育
委員会の認可により、新し
い一頁を印したのであります
が、その後主に東中学校
から東北中学校と南西中学
校の二校に統廃合すること
がのぞましいとの運動がで
るや、県教委ならびに県議
会、町民の意志を体して、その
議決と執行に責任を持たな
ければならないことは論を
またないところであります
そのためには、第一義的
に町議会の責任と、町長の
責任を明確にして、今後、
昨年の七月定例町議会の
時点から責任ある行動に

施設は漸次面目を新たに
するものを期待いたします
さらに社会教育の地道な
推進による新しい町づく
りの貢献を期待するもの
であります。

《消防組織と施策》

昨秋、消防団の紛争をお
こしたことは非常に遺憾に
思つてゐます。消防団の
活動は、町民の安全と健康
の維持に重要な役割を担
つてゐるものであります。

二、三男雇用に関しては
雇用推進委員会や心配ごと
相談所を中心に、徹底的に
促進するものであります。

堤等の陳情も継続します。
河川災害については、新
田目強瀬、三里ムクレ岱の
復旧が確定しているほか、
随所に陳情を継続いたしま
す。

● 充実する保育所
保育所に関しては、町立に
対し十八万円、私立に二

三月定例町議会
提出された議案

①昭和三十六年度決算の認定について

②合川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

③特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

④合川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

⑤昭和三十六年度合川町歳入歳出予算

⑥昭和三十六年度合川町 国民健康保険特別会計歳入 歳出予算	⑦昭和三十六年度合川町 国民健康保険診療施設特別 会計歳入歳出予算	⑧昭和三十六年度合川町 基本財産蓄積特別会計歳入 歳出予算	⑨昭和三十六年度合川町 牧野改良事業特別会計歳入 歳出予算	⑩昭和三十五年度合川町 牧野改良事業特別会計歳入 歳出予算
⑬昭和三十六年度合川町 会計現金預入先の決定につ いて	⑭昭和三十六年度におけ る合川町収入役の手持現金 の額の決定について	⑮寄付採納について	⑯町債を起し、起債の方 法及び利息の定率及び償還 方法について	⑰予算外義務負担につい て
⑱町村道変更認定につい て				

23 昭和三十五年度合川町 基本財産蓄積特別会計歳入 歳出追加更正予算 24 昭和三十六年度合川町 合川中学校特別会計歳入歳 出予算	22 昭和三十五年度合川町 国民健康保険診療施設特別 会計歳入歳出追加更正予算 22 合川町選挙管理委員会 の委員、同補充員の選挙に ついて	元来、合川町の中学校は 一校に統合することが、中 よりの規模として適当と考 えられ、町村合併以来の懸 案であつたのでありますが 昭和三十五年一月の町議会 全員協議会では、現在の直 線道路ぞいに一校に統合す ることに、ほぼ意見的一致 をみていたのであります。 しかし、種々教育的、住 民感情的な面で結局、昨年 七月の町教育委員会として は、合川町の中学校は一校
--	--	---

農村構造の改編へ

う方針であります。

「無電灯部落の解消」

合川町に残る無電灯部落
金沢、弥栄二十二戸に待望
の電灯を施設することにな
りました。

「登記所の新築」

法務省落合出張所を合川
出張所と改め、合川駅前
に移転新築し、合川町一円
の区域を管轄することに陳
情中であります。認可にな
らば、

「基本財産の造成」

合川町基本財産造成基本
計画にもとづく、第二年度
にあたる新年度は、積立金
をもつて合川営林署庁舎用
地費に転用している関係も
あり、新年度造林債を中心
に財源を確保して、町有林
芦沢をはじめ十二カ所にわ
け、新植、補植、除伐を
実施する方針であります。

経営へ移行できる目途と
つております。

農村構造の改編へ

とに努力を傾注する所存であり、全団員の復帰をみたの
でありますが、消防防組
織等に関しては、昨年三月
定例町議会でも教育民生常
任委員会から意見があつた
ので、今年の一月、消防機
構整備審議会を構成して組
織と施策に対して諮問中で
あつたが、その答申がださ
れたので今後、住民と消防
団とよく協議しながら、財
政の可能な範囲において改
善する所存であります。

六三制の義務教育にふさわしい教育課程は、南北校舎の生徒数が激減すること
に合致した年度に完成し教
育的な断層をつくることを
排除しなければならぬとい
ふ事柄は、その旨を述べら
れ、また各小学校の善する

失業対策事業は、第一、四半期は合川中学校整地事業、第二、四半期以降は、町道案三郎線の開設を行なう方針であります。

《無電灯部落の解消》

合川町に残る無電灯部落金沢、弥栄二十二戸に待望の電灯を施設することになりました。

《登記所の新築》

遊具等の確保を期待し、なお新年度で開設時の地元還付金が完了するので、次年度から漸次その分を投入することによつて、完全なる経営へ移行できる目途となつております。

《基本財産の造成》

合川町基本財産造成基本計画にもとづく、第二年次にあたる新年度は、積立金をもつて合川営林署庁舎用地費に転用している関係も

あゆみとその方向

はらわれた
調整への努力

自肅決議

今般私ども町議會議員一同は、昭和三十六年度予算審議の重大な場面の中のぞんで、合川町発展のための諸事項について真剣なる討議をかさね將來にむかつてあやまざる大方針をうちたてべく議會運営協議中のところ、はからずも議會の權威に關する事件をじやつきしたことは、議員一同衷心より遺かに感ずるものであり自責の念にたえないところである。

ひるがえつて省りみれば、このたびの不祥事は一部關係議員の責任はもちろんのことであるが、町議會全般の綱紀のちかんに由來するものと深い反省にかられ、町政の發展に強い与望を託する町民に対して議員一同は議會の權威回復について決意を新たにしてお処しなければならぬものと痛感するものである。

ここに一日も早く議會運営を正常に復し、町政の前途に光明を見出すために議會議員の一致した決意により議會の權威をたもち正常なる運営を図るため、自しゆくを申合わせるものである。

合川町議会

これまた東中学区出身の議員が半数近く不在で、翌十八日に持ち越された。
 三月定例町議会に合川中学の建築予算を提出するとする合川中学区出身議員の正論のため、町長は苦境に立ちながらなお、提出を留

突こんだ一般質問

三月十九日の本会議は町長の施政方針演説(別掲)を行ない、一般質問に入ることになつてゐたが、突然工藤文之助、米倉甚逸、松橋長松、佐藤伊右衛門の四議員から辞表が提出された。その取り扱ひで話し合つたが、辞表の取り扱ひは二十二日に行なうこととし、一般質問に入り、成田喜代治議員から、国民年金、国

について、桜田治恵門議員から町道中央線の都市計画、県道編入の方針や舗装対策職員の規律について、県町公立米内沢病院の關係、商工会の育成、金融機關や貯木場の誘致、共有林の造林対策、上小阿仁村との経済交流対策等の質問、斎藤蔵議員からは酪農振興対策固定資産税、町民税の減免

免許制度が大巾改正

原付自転車に注意

原動機付自転車を利用する人々が多くなっているが、転は、許可制でしたが、これを免許可となりましたの新しい「道路交通法」では

自から自肅を決議

知事と会談

二十一日は休会、二十二、二十六号、十七号議案が急を要する当局の希望により、日は四議員の辞表を受理するかどうかで論争され、一二議案を万場一致で可決、日協議したが結論を得ず、他の全議案を委員会付託と翌二十三日開会冒頭に可否を投票によつて決めることとなつた。

これにより二十四日は各

「必ず受け」

日、二十八日は決算特別委員会審議が行なわれ、二十九日本会議が再会されるといふ議会が定めた日程をあゆむことになった。

狂犬病の予防注射日程

ことしの狂犬病の予防注射が次の日程で行なわれることになった。

合川町長 畠山義郎

役場宿直室で、町議会の重要案件審議運営の過程において、町議会議員と職員とで花札トバクが行なわれたと報道され、町の名譽を著しく損じたことについて、町政執行者として申訳なく思い町民に深くお詫びいたします。

緊急執務時間中に職場をほう棄した職員の処分を行ない、二度と不祥事を招来することを戒め、恒久対策として職員一般に地方公務員たる責任ある執務をするよう要請するとともに、今後のことに關しては、職員組合と協議して委細を善処いたします。

二等陸海空士
自衛官募集中

防衛庁では、ただいま三十六年度の第一次二等陸海空士自衛官を次の要領で募集しています。

△応募資格

あ
と
が
き

雪の多かつたことしも、おひがなが過ぎ、いよいよ春だなア……と思わせるこのごろ。農家ではもう、三早栽培の作業がはじまることでしょう。

家庭メ

家庭メ

て町税の完納者と本町の町勢の発展に寄与された人の功勞をたたえ、表彰することになっている。

高血圧の人はご用心

このところ、新聞やラジオで、わが町の暗いニュースが報ぜられたがこの日を

季節の変わりめには、健康

に細心の注意を必要とされているが、特に高血圧症の人々はご用心下さい。

高血圧がおそれられてい

期して、わざわざいを転じて福としたいものです。

(広報係 松橋主事補)

中学校の統合まで――

中学校統合への動き

町村合併しようとする四
カ村協議の中で、役場の位
置と並んで中学校統合の問
題が大きく取り上げられた
一校に統合して李岱に置
こうとする当時の落合村を
中心に、各村ともいろいろ
合併条件の協定に論議しあ
つたが、当時、独立校舎の
新築途中であつた上大野側
では「中学校統合すること
であれば合併には応じかね
る」という強い態度であつ
たので「現状のまま」とい
う最終妥結で合川町誕生に
ふみ込んだのであつた。

昭和三十年四月、いよいよ
新町発足となり、四カ村
を一体とする新町建設に盛
り上げた大きな問題、即ち
役場庁舎の新築、直線道路
の建設、道路橋りようの整
備、営林署の誘置等が次々
と、かも予期以上の速度で
でき上つたが、問題の中学
校統合は、四つのちがつた
地域感情をそのままに、お
も苦しい空気の中になかな
か現実の問題として取り上
げるに到らなかつた。

しかし、町議会の中では
一校実施を期そうとする西



七月二十七日
議会教育民生委員会は、
それぞれの持論を固執して

つたがすべて町内の円満満期すべき大きな柱の支えだであつて、結論として、

に学校が二つあつても止るを得ないといふことで三校統合として町長が議会に正式提案することも全員一致で賛成することとなつた。

校実現

一日に発足

育てられた人々にとつては、学校は第二の母である。それだけに母校への愛着、親切なるものがあるが。

合併以来これほど大きな
住民の関心の的となつたとい

のほなにか、これを反映
校た町当局、町議会、町教育
と委員会がはらつた苦心は想
れ像に絶するものがある。

その後、九月二日議會は、
臨時會には布地を少し後方
教りにしようとする位置変
し議案(賛成十三、反對十)
可決、十月二十七日議會
例會は、建築布地の取得
案をそれぞれ可決した。

―町民の特別税負担にはならない―

東地区では、住民の納得
ができないので態度を決定
できないと主張した。

またこの日の夜、東地区
住民大会が開催され、約二
百人が東中学校に集まつて
町長から今までの経過を説
明したが、その後直線送
路沿いの一枚に反対する態
度を決めた。

七月二十七日

議会教育民生委員会は、
それぞれの持論を固執して

つたがすべて町内の円満満期すべき大きな柱の支えだであつて、結論として、

に学校が二つあつても止るを得ないといふことで三校統合として町長が議会に正式提案することも全員一致で賛成することとなつた。

校実現

一日に発足

育てられた人々にとつては、学校は第二の母である。それだけに母校への愛着、親切なるものがあるが。

合併以来これほど大きな
住民の関心の的となつたとい

のほなにか、これを反映
校た町当局、町議会、町教育
と委員会がはらった苦心は想
れ像に絶するものがある。

その後、九月二日議會は、臨時會には布地を少し後方教りにしようとする位置変更の議案(賛成十三、反對十二)を可決、十月二十七日議會は、例會は、建築布地の取得案をそれぞれ可決した。

九月一日に発足

七月二十八日
いよいよ最終団円によつて、教育委員会は同様の設置決議をなして正式に町長に送り、町長はこれによつて合川中学校設置案、合川中学校建築案、建築布地寄付採納案、建築予算案の四案を議会本会議に提出し出席議員二十四名の満場一致をもつて可決した。

九月一日
いままでの北西南中学校は、それぞれ北西南校舎として合川中学校が設置され歴史的な第一歩をふんだ。

西校舎講堂で、在校生徒中学校教員に議会議員、教育委員ら関係者多数参加して盛大に開校式が行なわれ榮ある前途を喜び合う人々の目は輝いていた。

育てられた人々にとつては学校は第二の母である。それだけに母校への愛着は切なるものがあるが。しかし、新しい時代のために、あたらしい学区にもこれから歴史と伝統を育てあげていかなければならぬ。

合併以来これほど大きな住民の関心の的となつたものはないが、これを反映した町当局、町議会、町教育委員会がはらつた苦心は想像に絶するものがある。

その後、九月二日議会臨時会には布地を少し後方よりにしようとする位置変更案（賛成十三、反対十）を可決、十月二十七日議定会定例会は、建築布地の取得議案をそれぞれ可決した。

いよいよ始まる国民年金

国民は充実した人々を納めそこを北眺てみたくよくないから

ことしこそ
火災のない年にしよう

— 合 川 町 消 防 団 —

24日 農業経済基本計画の説明
員会

25日 商工会役員会、婦人会
阿仁部ブロック会

28日 民生委員会、所得税
申告相談

3月9日 臨時出納検査、
保育所長、保母打合せ会

10日 国保運営協議会

11日 県北地区保育所部会
酪農組合役員会

13日 商工会理事會

14日 農業共同生産事業打
合せ会、教育委員会

16日 農業経済基本計画策
定協議会

17日 三月定例町議会開く

18日 議会全員協議会

19日 議会本会議

20日 町議会議員統合中学
校問題で知事と協議のた
め秋田市へ出市

22日 議会本会議

23日 議会本会議

24日 議会常任委員会

25日 議会常任委員会